



私の3冊

村山幸照

後輩に薦める 2 冊

林 總 (著)

ドロッカーと会計の話をしよう KADOKAWA, 2016 年発行

医療従事者の多くは会計を知りません。また、対象者に尽くすことが美德であり、利益や儲けという言葉に強い抵抗を抱きがちです。だから、医療従事者が病院経営や部門運営の責務を負ったとき、会計に関する書籍は敷居が高く、敬遠したまま「なんとなく」の管理運営にとどまる方も少なくありません。本書は私自身がそんな状況だったとき、会計の世界に自然に引き込み、会計の視点で部門運営状況を分析する視座を私に与えてくれました。

永井孝尚 (著)

「あなた」という商品を高く売る方法

キャリア戦略をマーケティングから考える NHK 出版, 2017 年発行

医療従事者が真剣にキャリアビジョンを考える時代です。このキャリアビジョンを明確に描ける人もそうでない人も、自身を商品としたマーケティングの視点が有益です。マーケティングとは、「商品が売れて儲かる仕組み」を指します。これを人に置き換えると、「求められる人材」となります。つまり、自分という商品の価値をどう高めるかは、多様性の時代だからこそ熟考する必要があります。本書はその意味と手段を私に教えてくれました。

自分の 1 冊

稲葉祐之, 井上達彦, 鈴木竜太, 山下 勝 (著)

キャリアで語る経営組織 個人の倫理と組織の倫理 有斐閣, 2010 年発行

キャリアごとに必要となるマネジメントの知識や技術は変わります。それに対し、組織論やリーダーシップの書籍を通読しても、その時に知りたい知識や技術は労力のわりにわずかししか得られません。しかし、本書は、「入社時」や「部下を持つ時」、「部内をまとめる時」など、医療従事者がマネジャーとして到達し得るキャリアごとに必要な知識や技術を集約しています。本書は、今もなお、その時々に必要な知識と技術を効率的に私に提供し続けてくれています。

■むらやま・ゆきてる 作業療法士 22 年目 社会医療法人財団慈泉会相澤病院リハセラピスト部門

作業療法士として、介護老人保健施設、訪問リハビリテーション、救命救急センターをもつ地域医療支援病院で主に脳卒中の方に対して作業療法を提供してきました。現在は約 130 名を有するリハセラピスト部門のマネジャーを務めています。最近では、リハ専門職が付加価値の高いリハビリテーションを提供できるような組織マネジメントが自己研鑽の中心です。2014 年、病院経営管理士取得。2018 年より信州大学経営大学院イノベーション・マネジメント専攻に在籍。